

農業委員会だより

なんたん

No. **55**

令和 6 年 11 月号

農業委員会のうごき	2~3
意見書の提出	4
利用状況調査 他	5
まちかど通信	6
地域農業を支える	7
なんたんあっちこっち 他	8

**ブドウを収穫する
美山町下地区の上澤豊子さん**

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail co-nougyo@city.nantan.lg.jp

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/index.html>



農業委員会のうごき

農業者との意見交換会



8月28日、農業委員会と女性農業者（5名参加）との意見交換会を実施しました。

オブザーバーとして、市農林商工部、京都府農業会議現地推進役に出席いただき、参加者からの自己紹介のあと、「議題に対する対応策について」「農業委員会や南丹市への意見」をテーマとして、意見交換を行いました。

参加した女性農業者からは、①鹿・サル・アライグマなどの被害が多い、②耕作農地の集積が出来ていないので非効率である、③管理が出来ていない農地が増加し耕作地が増加するが収益があがらない、④農業用施設の管理が大変である、⑤子育て中で農作業時間が取りにくい等の声が出されました。意見に対してオブザー

バーから、市の対策方針や先進地の参考事例等も示され、有意義な意見交換会となりました。
この意見交換会に出された意見は、10月18日に南丹市長あてに提出した『農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書』に反映しました。

（取材：平野清久委員）



女性農業者ならではの意見を市政に

豊かな老後生活のために!!
加入しませんか？

の う ね ん
農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円～6万7千円まで千円単位で選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金

詳しくは農業委員会事務局まで（連絡先：0771-68-0067）

管内視察研修 (福知山市農業委員会)

地域計画の先例事例を視察

7月22日、地域計画策定に向けた取り組みの先進地である福知山市を視察しました。

同市は、地域計画の単位を12地区に分け作成する方針を決定し、スケジュールに沿って現状分析を行い、「協議の場」の実施に向けて、地域計画単位での農区長などに対する説明会を実施されてきました。

中でも京都市のモデル地区でもある中六人部^{なかもとべ}の地域計画の策定手順については、まず「守るべき農地」を明確化し、現況地図の作成が昨年11



月下旬に行なわれました。ブロック別説明会・ブロック別話し合いを経て本年3月に素案の取りまとめを行い、6月28日に、地域計画を市に提出したとのことでした。

委員からは、地域計画策定までの苦労や地域ごとの話し合いでの内容など、多くの質疑応答がされ、有意義な研修であったと同時に、地域での計画策定に、早速役立つものでした。

(取材：平野清久 委員)



地域計画策定に向けた取り組み

各地域で農地を守るために奮闘

年々農家の高齢化や後継者、担い手不足による中山間地における農業、農村の問題は深刻化してきており、地域の農地をいかに守り活用し、次世代へ繋ぐ持続可能な地域の農業のあり方を考えることが重要な課題となつていきます。こういった中で現在、農業のあり方や守るべき農地について集落内で協議を行い、目標地図及び地域計画の策定が求められています。

7月には本市においても地域計画の策定に向けた取り組み

みについて、市内各地域の農家組合長をはじめ関係者に向けた説明会が開催されました。

現在、地区担当の農業委員、農地利用最適化推進委員のサポートのもと各集落において農家組合長または区長主導で協議を行い、現在の農地利用状況や今後の意向を取りまとめ目標地図及び計画書の策定に向けた話し合いが進められています。

(取材：八木均 委員)



協議がすすむ美山町大野地区



令和6年10月18日に「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」を西村市長に提出しました。

農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書

1. 生産資材等高騰対策について

- 市内産有機質肥料を安価に提供できるための市内資源循環システムを再構築すること
- 「耕種農家緊急支援交付金」や「畜産農家緊急支援交付金」と同等の支援を講じること
- 省エネタイプの機械・施設の導入促進に係っては、国、府の事業を積極的に活用するとともに、「南丹市がんばる農業応援事業」を拡充すること

2. 米価対策について

- ふるさと納税返礼品で、米農家が寄付の恩恵をより受けられる体制と、南丹市米のPRを図ること
- 米の消費拡大と所得支援対策について、国や府へ強く要請すること

3. 有害鳥獣対策について

- 電気柵などの設置や修繕については、市単独の施策で補完するなどきめ細やかな対応を講ずること
- 捕獲班員の確保・育成に係る施策の拡充を図り、近年一部地域で実績が上がっているJAによる捕獲を市内全域に広げ、小動物などについても個体数を激減させる対策を推進すること

4. 女性農業者支援対策について

- 出産前後の機械作業支援制度の創設し、育児休暇の取得が困難なため待機児童が出ないよう特に配慮すること
- 地域農業の担い手として活躍できるよう、きめ細やかな支援やサポート体制を構築し女性農業者による南丹市産農産物を活用した加工・販売などの6次産業化への支援を拡充すること

5. 新規就農者等支援対策について

- 関係機関一丸となった指導、助言をおこない、短期間で採算ベースに乗ることができるよう、生産技術から経営力の向上に至る総合的な支援体制及び制度を構築すること
- 異業種からの農業法人参入の促進を図るとともに、市内の農業者を育成し、規模拡大や法人化への支援を強化すること



■意見書の全文ならびに回答はHPで公開しています。

URL: http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/003/000/index_45354.html



全国農業新聞を購読しませんか。

農業経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。農業者の視点で、さまざまな情報をお届けします。
発行日/金曜日発行(月4回) 発行所/全国農業会議所
購読料/月額700円(税込)

購読の申込は農業委員会事務局まで 電話 0771-68-0067

農地の利用状況調査を実施



調査する農業委員会委員

利用状況調査とは

8月19日から9月4日にかけて、農業委員と農地利用最適化推進委員が担当地域を中心に利用状況調査及び農地パトロールを実施しました。

調査では、農地が届出や許可のあった内容通りに適切に利用されているかを確認するとともに、耕作放棄されている、適切に管理が行われていない農地がないか調査しま

した。

この調査は、農地の利用状況の把握を行い、遊休農地の早期発見、解消に向けた取り組みを行うことを目的として毎年実施しています。

耕作放棄された農地では、雑草が生い茂り、害虫が発生したり野生鳥獣の棲み処となることも多く、周辺の農地に悪影響を及ぼしてしまいます。

調査結果に基づいて

調査結果について、旧町ごとに担当地域の委員が各農地の状況について報告し、話し合いを行いました。

今後の展望について

今回は、835aが遊休農地と判断されました。昨年度と比べると遊休農地は増加しています。

今後も遊休農地の解消に向けて取り組んでいきますので、引き続き適切に管理をしていただくとともに、労働力の不足などで耕作が困難になる恐れがある場合は遊休農地になる前に農業委員会にご相談ください。

京都府立農業大学校令和7年度の学生を募集します

京都府立農業大学校では、豊かな自然に囲まれた環境の中で、農業の担い手、農業後継者を養成しています。収益性の高い京野菜や宇治茶の生産を学び、農業に従事する意欲ある学生を募集しています。

- ◆募集人数 20人程度（推薦入学を含む）
- ◆出願資格 学校教育法に規定する高等学校若しくは中等教育学校の卒業者（令和6年3月卒業見込み）又は同等の学力がある者で令和7年4月1日時点で40歳未満の者
- ◆試験日程

一般入学試験（前期）	受付期間	令和6年12月 2日（月）～12月13日（金）
	試験日	令和7年 1月10日（金）
一般入学試験（後期）	受付期間	令和7年 1月20日（月）～ 1月31日（金）
	試験日	令和7年 2月14日（金）

問い合わせ先 京都府立農業大学校（0773-48-0321）

地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！



Chezあさひな (園部町南八田)

シェフこだわりの一品を!!



- 住所：園部町南八田縄手47
- TEL：090-6235-2724
- 電話受付：11:00～14:30
- 営業日：金曜日・日曜日

府立るり溪自然公園に向かう駐在所のある十字路を右折し、右カーブ手前に、洋食レストラン「Chez (シエ) あさひな」があります。

店のはじまりは、4年前、あかまつの丘西本梅 (旧西本梅小学校) のランチルームで、日替わりシェフのお店としてランチ営業をスタートされ、その後、シェフの妻、綾香さんの南八田にあるご実家を改装し、独立店舗として、再出発されました。

店内は、カウンター席とテーブル席があり、外から程

よく光が差し込む落ち着いた雰囲気となっており、「昔の懐かしい喫茶店のようなお店にしたい」との綾香さんの思いが生かされています。

メニューは、人気のパスタやオムライスに加え、大人のお子様ランチがあります。食材のお米や野菜は、南丹市産のものをシェフ自らが厳選して使用されています。

道の左側に大きなコックさんの看板がある駐車場も整備されており、おいしいランチが食べられます。

(取材：奥村喜久雄 委員)

うどん 58 自家製餛飩処 ウドンゴヤ (八木町玉ノ井)

地域に愛されるお店に!!



▲看板メニュー「コヤウドン」



- 住所：八木町玉ノ井両ヶ谷27
- TEL：0771-55-5277
- 電話受付：11:00～14:30
- 休業日：日曜日、祝日

国道9号沿八木町玉ノ井にあり、JR吉富駅から徒歩7分、「うどん」と書かれたのぼりが目印のこのお店は、美味しいうどんを提供されるだけでなく、経営母体である福島鯉(株)の社員や顧客筋が製麺やうどん店運営を学ぶ『うどん研修所』としての顔も持つそうです。

店内製麺室で毎日打たれるうどんは、程よいコシと喉ごしの良さが自慢で、量は他店よりかなり多めですが、つると食べきれると評判です。

また、だし専門メーカーだけにスープは高品質の削節と昆布を贅沢にブレンドし、じっくり手間をかけ丁寧につ

られています。うまみと滋味たっぷりの味わいは自家製麺との相性抜群で食が進みます。

人気は基本のうどんに天ぷらを3点つけた看板メニュー「コヤウドン」シリーズと、うどん・小どんぶり・天ぷらを組み合わせる「選べる定食」で、お米は園部町農業公社の『キヌヒカリ』を使用されています。ふわふわの花鯉をのせた「おかかめし」も大好評で他にも南丹市産素材を積極的に取り入れていただいています。各種特典も充実し、地域で長く愛されるお店を目指され、今後が楽しみです。

(取材：小早川健一 委員)

地域農業を支える

あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する
団体・個人を紹介します。

生畑農業生産集団

らくしゅうかい
『楽生会』 (日吉町^{きはた}生畑)



船越芳美さんと船越卓さん



作業する龍谷大学政策学部の学生ら

夕暮れ時、畑で黒豆の出
来栄えを観察する2人の姿
がありました。日吉町生畑
にある生畑農業生産集団
『楽生会』の船越卓さんと
船越芳美さんです。

この集団設立のきっかけ
は、平成19年度から始まっ
た農地・農道・農業用排水
路等の農業資源の維持や景
観形成を目的とした「農
地・水・環境保全向上対
策」であったそうです。多
面的機能支払交付金の活動
組織である「生畑・むらを
守り育む会」の役員会で、

農地の遊休解消に取り組
む必要性が話し合われたこ
とがはじまりだそうです。
「生畑・むらを守り育む
会」の役員であった数名の
方が中心になって有志を集
め、平成24年5月に「耕作
放棄地の発生防止と農業生
産活動を共同で行うこと」
を目的に10名の構成員で
「生畑農業生産集団『楽生
会』」が発足しました。

現在286アールある農
地を経営受託し、野菜、水
稲、黒豆部に分かれ、メン
バーの他にサポーター(男
3名・女4名)を加え、各
作物の生産活動や農地の維
持保全活動に取り組みされ
ています。
特に、地域の特産物であ
る黒豆栽培に力を入れてお
られ、作業の効率化や重労
働の解消を図るため、自走
式動力噴霧器や脱粒機、ア
タッチメントの播種機や成
型機などの専用機を導入さ
れています。
芳美さんは「遊休農地
だったところで、今年も立
派な黒豆が収穫できそう
だ」と胸をなでおろされて
いました。
また、黒枝豆を市外のJA
農作物直売所やイベント会場
に出荷されていますが、卓さ
んは「最近では枝豆を求めて、
生畑まで足を運んでくださる
方が増えてきた。これが一番
うれしいことだ」と話されて
いました。
生畑地内には2年前から世
木地域振興会と龍谷大学政策
学部が連携して取り組んでい
る「環境に配慮した売れる米
づくり」研究の実践圃場があ
り、楽生会のメンバーが指導
助言を行っています。

ただ、「楽生会」
も発足12年目にな
り、後継者問題を抱
えており、「新規就
農者の受け入れを本
気で取り組んで欲し
い」と農業委員会へ
切望されています。
(取材…
久世善春 委員
田鶴昌子 委員
湯浅照夫 委員)

なんたん あっちこっち

とにかく広い南丹市。
南丹市のあちらこちらで、地域ならではの魅力的な取り組みがされています。
そんな南丹市の、**あっちこっち**のできごとを紹介します。

10月14日、神吉子どもみこしが行われました。みこしを担ぐ子どもたちが、元気に出発できるように景気付けに、神吉太鼓の発表から始まり、ドンドンドンと神吉中に太鼓の音が響きました。そのあと「わっしょい、わっしょい」と子どもたちの元気な掛け声と共にみこしを担ぎ神吉を巡行しました。道中に栗を拾って大きさを比べたり、「柿が



神吉太鼓



神吉子どもみこし
笑顔で『わっしょい』



元気いっぱい・笑顔いっぱい子どもみこし

なっていないね」など話しながら神吉を探索することもできました。この日は、良い天気になり少し暑いぐらいだったので、汗をかきながらでしたが、最後まで無事に巡行できました。また来年、子どもみこしに同行し元気をもらえればと思います。
(取材：川勝芳明 委員)

委員ぶらり旅

旅人：川勝芳明 委員

夏の思い出

8月上旬、1年で一番暑い中、高浜町へ海水浴に行った。午前8時30分頃到着、早速荷物を降り砂浜へ。

テントを張り影をつくる。子どもたちは海へ走って行く。僕は泳ぐのが苦手、顔に水がかかるのも嫌なため、テントの影に入り荷物番。

この海水浴は、小学校高学年のとき臨海学校で来た場所だ。夜のキャンプファイヤー、朝の散歩などを思い出す。

砂浜で食べるかき氷は、溶けるのが速く、あつという間に水になる。普段作業しているビニールハウスの暑さより、海の暑さは厳しいように感じる。

夕方、近くの温泉に行き一日の疲れを流す。今年も夏の楽しい思い出が刻まれた。



編集後記

9月初旬の残暑厳しい中、美山町下(しも)地区内ではブドウの収穫の真っ最中。8種類のブドウを、収穫時期をずらして栽培されています。獣害に悩まされながらも甘いブドウが出来たようです。商品はすべて予約注文でさばけるほどの人気ぶりとのことです。
(野口則彰 委員)

地域の食と農業の情報紙『なんたん』

自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

野口 則彰 委員
八木 均 委員
平井 隆子 委員
神井 典子 委員
澤井 昌子 委員
久世 善子 委員
田鶴 昌春 委員
池上 尚隆 委員
鶴山 昌隆 委員
國府 博仁 委員
小早川 健美 委員
川勝 芳明 委員
奥村 喜久雄 委員
西村 邦夫 委員
中井 順剛 委員
中井 順剛 委員
平野 清久 委員
湯野 照久 委員
◆ 広報委員会